

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

医療介護保険課

1 施設の概要等

施設名	府中市特別養護老人ホームほのぼの苑		
所在地	府中市上下町深江10488番地3		
設置目的	介護保険及び高齢者福祉の増進を図り、各種サービスを総合的に供与するため		
施設・設備	ほのぼの苑建物		
指定管理者	R7.4.1	～ R12.3.31	社会福祉法人 翁仁会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	10,120 人	10,646 人	168 人	526 人	105.2%	%
	R5	10,517 人	10,502 人	-144 人	-15 人	99.9%	%
	R6	10,621 人	10,047 人	-455 人	-574 人	94.6%	%
	R7	10,676 人	10,510 人	463 人	-166 人	98.4%	%
	R8	10,731 人	人	人	人		%
増減理由	年間平均:28.79名/日 年間稼働率:95.98% 退所者は6名(苑にて看取り3名、病院へ退所3名)と例年より少なく、その分空床ベットも少ない。入院者:21名と平均的であったが、短期間の入院が多い。退所から新規入所までの期間を短縮する取り組みを行なった事も稼働率アップにつながったと考える。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】	
	本人様と担当職員の面談。		利用者:30名	
	家族会での意見交換。		家族:10名	
	【主な意見】		【その対応状況】	
	リハビリをしっかりと行いたい。		ご家族や主治医と相談を何度か行い、老健へ入所となる。	
	外出や本人(食事制限あり)への差し入れ(食べ物)について。		時間を決めた外出と食事制限を理解いただきつつ、主治医の指示のあった量の差し入れの許容。	

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考	
報告書	年度	○	事業報告書	
	月報	×		
	日報(必要随時)	×		
管 理 運 営 会 議		【特記事項等】		
0 回 会場		・必要に応じて随時会議を実施する。		
現 地 調 査 (実 施 月)		【指定管理者の意見】		
		・必要に応じて随時協議を実施。		
1月	2月	3月	4月	5月
【市の対応】				
6月	7月	8月	9月	10月
				○
11月	12月			

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	0	0		R4	158,922	-1,208
	R5	0	0		R5	160,040	1,118
	R6	0	0		R6	160,635	595
	R7	0	0		R7	172,494	11,859
	R8	0	-		R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R6決算額	R7決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料		0	0	
	料金収入	160,635	172,494	11,859	稼働率向上・加算の算定・おやつ代20円増
	その他収入	300	993	693	介護人材確保・職場環境改善補助金
	計(A)	160,935	173,487	12,552	
	支出				
	人件費	124,939	127,927	2,988	人員減と昇給
	光熱水費	7,547	6,238	-1,309	ガスと電気の使用精査による使用料減
	設備等保守点検費	838	859	21	
	清掃・警備費等	15,888	16,238	350	管理費上昇
	施設維持修繕費	669	579	-90	
	事務局費	21,544	19,829	-1,715	日用品・医薬品・消耗品などの精査
	その他支出	6,785	2,317	-4,468	その他経費の精査
	計(B)	178,210	173,987	-4,223	
自主事業	収支①(A-B)	-17,275	-500	16,775	
	収入(C)	15,541	543	-14,998	運営費のサービ間移動なし
	支出(D)	6,374	5,948	-426	
収支②(C-D)		9,167	-5,405	-14,572	
合計収支(①+②)		-8,108	-5,905	2,203	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	府中市北部圏域の福祉を担う法人として、利用者のかたの「安心・安全・元気・満足」、職員の「やりがい・働きやすさ」、地域との「つながり」を意識し運営しています。 施設設備の老朽化が多く見られている。利用者や職員の安全のため、早い修繕をおこなっているが今後も大きな修繕が控えている為、計画的に実施する必要がある。直近では電灯のLED化工事。 職員の高齢化は続いており人材の確保は最重要課題と考える。 その他、最低賃金の上昇や職員の処遇改善などによる人件費の高騰は著明(人件費率:70%)で、日用品等の物価高騰、光熱費の高騰等の費用の上昇を30床の小規模の特養では補えるほどのスケールメリットはなく、今後長期化すれば事業継続が難しくなる事が予想できる。 入所利用者の高齢化・重度化(介護と医療)は横ばいで(平均介護度4.3・平均年齢90.4歳)で入院や看取り等の対象も増える。空きベットを空床利用でしっかりと活用を行うように様々な利用方法をケアマネと連携をして実践している。	府中市北部圏域の高齢者の生活を支える法人として、地域とのつながりを重視して運営され、適切に運営が行われている。 施設の維持管理については、大規模修繕等の必要に応じて計画的に実施していく。 利用者数については、目標人数には至っていないが、ベッドが空床とにならないように取組をされ、高い稼働率を維持している。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	入所希望者減少や入所されるまでの期間の増加により稼働率の低下がみられる。利用者の重度・高齢化により入院や看取り増も稼働率低下の要因となる。安定した経営には入所者の体調の安定は大切で、利用者の元気や医療との連携について重要度が高い。 職員確保も同様で、計画的な採用が難しい状態。外国介護人材も費用がかかり、小規模施設には厳しい。さらに、日用品等の物価や水道光熱費の高騰・老朽化による修繕などもあり、補助金の活用等しっかりとしたビジョンをもとにした経営が必要。	○地域のサービス需要を反映した事業実施 ○安定的な事業継続に向けた取組 ○計画的な介護人材確保に向けた取組